



クリスティアン・アルミンク
音楽監督就任!
《SECRETS ～音楽の不思議～》

広島交響楽団 第440回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 440th Subscription Concert

クリスティアン・アルミンク
音楽監督 就任披露



指揮
クリスティアン・アルミンク
Conductor: Christian Arming

©Shumpei Ohsugi

2024.4.13(土)

15:00開演 [14:00開場] Saturday April 13, 2024
Start 15:00 [Open 14:00]

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

コンサートマスター: 四方恭子、三上亮
Concertmaster: Kyoko Shikata, Ryo Mikami

ベートーヴェン
ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調作品73「皇帝」
Beethoven: Piano Concerto No.5 in E-flat major Op.73 "Emperor"

リヒャルト・シュトラウス(生誕160年)
アルプス交響曲 作品64
Richard Strauss: An Alpine Symphony Op.64



ピアノ
ティル・フェルナー
Piano: Till Felner

©Fran Kaufmann



高みへ、アルミンク・広響 始動。

アルプスの神秘的な夜明けが
〈アルミンク・広響〉の門出を祝福する。
壮大なシンフォニーの幕開け。
大自然への崇拝に隠されたリヒャルト・シュトラウスの思いとは。
そして、圧倒的な名作として聴衆を魅了する
ベートーヴェンの『皇帝』。
世界が注目するピアニスト、フェルナーの神業テクニックと
研ぎ澄まされた感性でベートーヴェンの素顔に迫る。

チケット(税込/全席指定)

S席5,800円・A席5,200円・B席4,500円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2024年2月20日(火)

プレイガイド/
ローソンチケット(Lコード:63285)、チケットぴあ(Pコード:263-899)、広響事務局

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/Alph Music Foundation 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

プレミアム協賛/ Enercia 中国電力

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、ちゅびCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ
広響事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>

広響公式HP



高みへ、アルミンク・広響 始動。

指揮

クリスティアン・アルミンク Conductor : Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から、広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年4月に同団の音楽監督に就任する。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トウールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマンド管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年には小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演を指揮した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲ニ短調などをリリース。また、シルバ・オクテット、リエージュ・フィルとの共演によるディスクがドイツ・グラモフォンからリリースされた。



©Shumpel Ohsugi

ピアノ

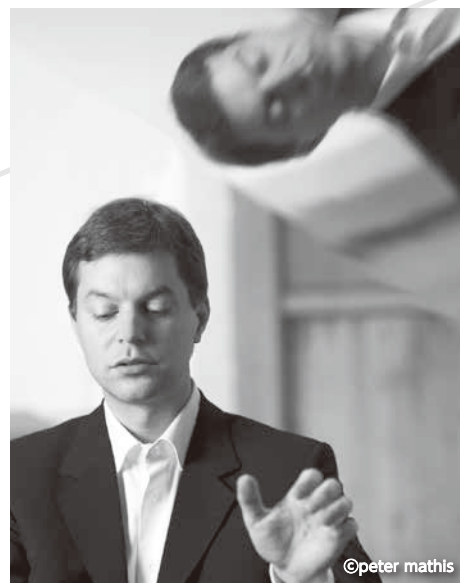
ティル・フェルナー Piano : Till Fellner

ウィーン生まれ、ブレンデルやマイセンベルクに師事。1993年のハスキル国際コンクールに優勝して国際的に注目を集めた。

アバド、アシュケナージ、ブロムシュテット、ビシュコフ、ハイティンク、アーノンクール、ホーネック、マリナー、ナガノ、ノット、ベトレンコらの指揮のもと、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、NHK響などと共演。室内楽では、ヴィヴィアン・ハーグナー、マーク・パドモア、ベルチャ弦楽四重奏団と定期的に活動し、2023年2月にはメゾ・ソプラノのアンナ・ルチア・リヒターと東京でのリサイタルを成功させた。

J.S.バッハ「平均律クラヴィア曲集」とベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲の演奏に力を入れ、後者は2008～10年にかけてニューヨークや東京、ロンドン、パリ、ウィーンなどで全曲演奏会を行った。

録音も数多く、ECMLレーベル専属のアーティストとして、J.S.バッハ『平均律クラヴィア曲集第1巻』や『インベンションとシンフォニア/フランス組曲第5番』、ナガノ指揮モンテリオール響との共演によるベートーヴェンのピアノ協奏曲第4、5番などが発売されている。チューリヒ芸術大学とグラーツ国立音楽大学で後進の指導にあたっており、2019年にはブゾーニ国際コンクールで審査委員長を務めた。



©peter mathis

次回予告 第441回プレミアム定期演奏会

2024.5.31(金) 18:45開演
[17:45開場] 広島文化学園HBGホール

徳永二男 ミュージック・アドバイザー 就任披露

ブラームス：大学祝典序曲ハ短調作品80

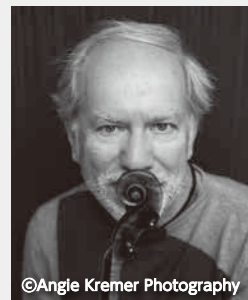
シューマン：チェロ協奏曲イ短調作品129（ヴァイオリン版）

ブラームス：交響曲第3番ヘ長調作品90



©ヒダキトモ

指揮：徳永二男



©Angie Kremer Photography

ヴァイオリン：ギドン・クレメル